消毒液の作り方（塩素系漂白剤のうすめかた）

**㋐1,000ppm次亜塩素酸ナトリウム溶液**

①２Ｌのペットボトルに水を半分入れる。

②塩素系漂白剤原液をペットボトルのキャップ８杯（40ml以上）

加え、よくまぜる。

③さらに水を入れ２Ｌにし、よくまぜる。

**㋑200ppm次亜塩素酸ナトリウム溶液**

①２Ｌのペットボトルに水を半分入れる。

②原液をペットボトルのキャップ２杯（10ml以上）加え、よくまぜる。

③さらに水を入れ２Ｌにし、よくまぜる。

＜嘔吐物で汚れた床＞

①　**㋐**の消毒液で浸した使い捨て布やペーパータオルで嘔吐物を覆い、

外側から内側へふき取り面を折りたたみながら静かにふき取る。

②　使用した布等は袋に入れ、**㋐**の消毒液で浸し、消毒・密閉し廃棄

する。

③　吐物が付着していたフローリング、畳等は**㋐**の消毒液で拭く。１０

分程度したら水拭きする。また、塩素系漂白剤の使えない、じゅう

たん、布団等は、スチームアイロンの蒸気を使用し、十分に加熱消毒

をする。

＜トイレ周辺＞　　**＜**糞便や嘔吐物で汚れた衣服など＞

人が手を触れた可能性のある　　　　汚物を取り除き、**㋑**の消毒液に

ところ（ドアノブ、蛇口、水洗　　　３０分以上つけこむ。色落ちなどで、

レバー、便器等）を**㋑**の消毒液　　　消毒液が使えない物は85℃で1分間

拭く。１０分程度したら水拭き　　　以上の熱処理。その後、他の洗濯物と

する。　　　　　　　　　　　　　　分けて洗う。

**船橋市保健所健康危機対策課　☎０４７－４０９－２８６７**

***Norovirus***

**ノロウイルスによる**

**感染性胃腸炎に注意**



ノロウイルスによる

感染性胃腸炎の

集団発生が起きています

感染性胃腸炎には、細菌によるもの、ウイルスによるものなど、原因には様々な病原体がありますが、冬季に流行する感染性胃腸炎の多くは、ノロウイルスを原因とするものといわれています。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、乳幼児施設や高齢者施設などで集団発生することがあり、特に注意が必要です。

ノロウイルスに感染した患者の便や嘔吐物には大量のノロウイルスが含まれており、便や嘔吐物を介してヒトからヒトへ感染が拡大したり、また飛沫感染や埃とともに周辺に散らばるような塵埃感染（じんあいかんせん）をしたりすることもあります。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　

★ノロウイルスとは？

１９６８年の冬、アメリカ合衆国オハイオ州ノーウォークの小学校で胃腸炎が流行し、電子顕微鏡でウイルスが確認されました。１９７２年に地名にちなんでノーウォークウイルスと命名され、２００２年「ノロウイルス」と正式に名称が決まりました。直径が25～3５nm（ナノメートル＊）で、電子顕微鏡でしか見えない、ごく小さな球形のウイルスです。　　　　＊１nmは１mmの100万分の1

★どうやって感染するの？

○経口感染

＊ウイルスに汚染された食品（二枚貝など）を介して感染

＊ウイルスに感染した人が調理などで汚染させた食品を介して感染

○飛沫感染

＊ウイルスを含んだ吐物や糞便が飛び散った飛沫を吸い込んで感染

＊吐物や糞便の処理（始末）の際に発生した飛沫を吸い込んで感染

○接触感染

＊感染した人の吐物や糞便に直接接触し、手指を介して口に入る

＊患者が触れたドアノブ、衣服、器具類などに手指が接触し口に入る

**感染の特徴**

* 少量で感染し（１０～１００個の摂取）、発症率が高い。
* ウイルスに汚染された食品を通じて感染する。
* ウイルスに汚染された人の手を介して感染する。
* 感染者すべてが発症するわけではない。

**主な感染源**

* カキなどの２枚貝
* 患者の糞便・吐物
* ウイルスに汚染された食品や水

★感染するとどうなるの？

　感染後１～２日で発症する。

　吐き気や嘔吐、腹痛、下痢が１～３日続く。

症状が治まってからも1か月間、糞便にウイルスを排出することがある。

症状は１～３日で収まりますが便から1か月間ウイルスが排泄されるので、感染者は手洗いの徹底や入浴の順を最後にすることなどが必要です。また乳幼児や高齢者は脱水症状や嘔吐物の誤嚥による肺炎など重症化したり、嘔吐物により窒息したりすることがあり注意が必要です。

★予防法は？

流水による確実な手洗いで、付着したウイルスのほとんどが除去できます。石けん自体にはウイルスを死滅させる効果はありませんが、手の脂肪などの汚れを落とすことでウイルスを物理的に落とす効果があります。

＜こんなことに気をつけましょう＞

* + 食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう。
	+ 下痢や嘔吐などの症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
	+ 胃腸炎患者に接する方は、患者の糞便や吐物を適切に処理し、感染を広げないようにしましょう。
	+ 加熱が必要な食品は、中心部までしっかり加熱して食べましょう。

★2次感染を防止しましょう！

* ビニール手袋・マスク・エプロンを着用し、処理が終わったら手袋を外して、せっけんでよく手を洗い、うがいをしましょう。
* ノロウイルスの消毒には、塩素系漂白剤または熱消毒が有効です。
* 消毒作業中は換気に注意しましょう。
* 塩素系漂白剤は加熱しないでください。｢使用上の注意｣をよく読みましょう。

　　　　　　　　　